



# 中国漢方通信



妙泉堂薬局

## 花粉症の症状・・・風邪とのちがいは？

### 花粉症



### くしゃみ

連続して出る  
花粉シーズン中続く



### 鼻水

水のように透明  
サラサラしている  
花粉シーズン中続く



### 鼻づまり

症状がひどい  
両方の鼻が詰まること  
もある  
のどの渇き、痛みも起  
こることがある



### 目のかゆみ

強いかゆみが伴い  
涙が出ることも  
ある



### 風邪



3～4回連続して出  
ることもある  
長くて一週間程度

最初は透明で  
サラサラしているが、  
しだいに粘液質の  
鼻汁に変わる

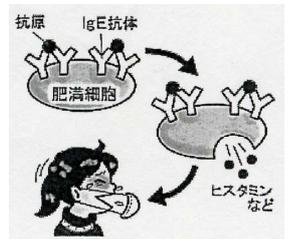
比較的症状は軽い

目の症状はほとんど  
起こらない

## 花粉症にどうしてなるの？

人体には異物である細菌、ウイルスなど（抗原）から抗体を作ってカラダを守ろうとする免疫反応があります。これが都合良くはたらく場合を『免疫反応』と言いますが、この異物が大量に入ってくることで過敏に反応してしまう場合を『アレルギー反応』といいます。

- ① 花粉（抗原）が侵入すると、それに対する抗体（IgE）を作り、防御しようとする。抗体は粘膜（鼻や眼など）にある肥満細胞表面に結合。
- ② 再び花粉が体内に入ると、花粉が抗体に結合。
- ③ 肥満細胞からアレルギー症状を起こさせるヒスタミンなどを放出させ、花粉をカラダに入れないようにする。



花粉症発症の仕組みのイメージはこんな感じです・・・



毎年花粉に触れるたび、花粉症に関係するアレルギー物質（IgE抗体）が血液中にたまっていきます。



そして、いざ自分がためておける以上の量になった時に花粉症としてアレルギー症状を発症するのです。

コップの大きさは、体質や遺伝などによって人それぞれ違うため、同じ環境にいたとしても発症する時期に違いがでてくるのです。

# インターパンチで免疫バランスを整えよう！

花粉症を根本的に治すには、免疫機能を正常化し、抗体（IgE）が作られやすい状況を改善する必要があります。そのためには、食生活や日常生活、体質など様々な要因があり、これらを一步一步改善することです。また、IgE抗体を下げてくれる**インターパンチ**を服用するとよいでしょう。**インターパンチ**は数百種類の植物から厳選された4種類の植物（カボチャ・オオバコ・スイカズラ・ベニバナ）を最も効果的な分量で配合し、ビフィズス菌・ラクチュロースやラクリス菌を健康に役立つよう組み合わせた栄養補助食品です。免疫システムの中のTリンパ球は異物を感知すると抗ウイルス作用や抗ガン作用をもつTh1とIgE抗体を産生させるTh2に分化して攻撃をしかけます。インターパンチに含まれる植物エキスはインターフェロンを体内で作成し、Th1への分化を増加させます。相対的にTh2の比率が低下してバランスが調整され、IgE抗体が新たに作られないので症状が出にくくなるのです。



## インフルエンザやノロウイルスにも・・・

抗ウイルス作用が強化されるということは、インフルエンザやノロウイルスに感染したときにすぐに闘う力を持っているということです。そして、直接的にウイルスを撃退するには、**板藍茶**です。板藍茶はアブラナ科の植物「ホソバタイセイ」の根。漢方の抗生物質ともいわれ、抗菌作用と抗ウイルス作用、解熱作用、解毒作用に優れた生薬です。

## 漢方で体質改善！

### 体質改善のキーワードは『衛気』

中医学では、ウイルスや花粉、気温の変化等に対する身体の第一の守りを『衛気』（＝身体の防衛力）と呼び、この『衛気』が体表部や体内の粘膜のバリアの役割を果たしています。風邪をひきやすい、皮膚や粘膜に炎症を起こしやすい・・・といった方には、『衛気』を補う漢方が強い味方となります。



### 『衛気』を強化するナンバーワン生薬！ 黄耆(おうぎ)

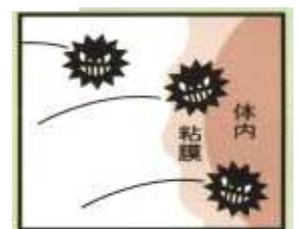
『黄耆』は、体表や粘膜周辺の元気づけに用いられる最も代表的な生薬です。

外的刺激に弱い「肌や口、鼻、体内」の粘膜を強化したい時は黄耆に白朮・防風という2つの生薬を組み合わせた漢方

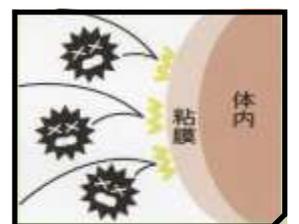
**『衛益顆粒』**がおすすめです。



ウイルス  
花粉に  
負けない体！



衛気が不足した状態



衛気が充分な状態